

長・短母音の持続時間変異とその要因

佐野 真一郎（慶應義塾大学）

日本語の母音には長短の対立があり、持続時間長が第一の識別因子となるが、とりわけ自然発話においては様々な要因により変異が見られる。本発表では、日本語の短母音・長母音の持続時間の変異が、どのような要因によって制御されているのか、またこの変異が母音の長短対立とどのような関係にあるのかについて、自発音声コーパスを用いた検証結果を報告する。